



荒川 一義 議員
(無党派)



一般質問

■七尾版総合戦略について

和倉温泉お祭り会館オープンに向け 万全のPR活動を！

質問 来年4月オープン予定の和倉温泉お祭り会館のオープンする日はいつか。年間の入館目標人数をどう設定しているか。この目標達成のための発信力や対応の取り組みをどのように考えているか。

答弁 和倉温泉お祭り会館のオープンは令和2年4月25日(土)を予定している。年間の入館目標人数は、和倉温泉入込客数をベースに設定している。平成30年度の入込客数が91万3,000人となっており、約1割を考慮し、10万人を来年度の目標に設定している。お祭り会館だけを目的に来館する場合も想定されるが、あくまで最低10万人を設定しており、プラスアルファを期待している。

オープンに向け、石川県観光連盟、能登半島広域観光協会、和倉温泉旅館協同組合、和倉温泉観光協会、ななお・なかのとDMOなどと連携し、事前PRなど誘客活動を行っている。PRについては、商談会参加やいしかわ県人祭などでチラシ配布、市ホームページなど各種媒体を活用し周知を行っている。今後、引き続き関係機関と連携し、旅行会社などへ誘客活動を進めていきたい。

【その他の質問項目】

■RPA導入について
■プレミアム付き商品券について

■マイナンバーカードについて
■ローカルベンチャーについて

一般質問

■駅北エリアの回遊性について

駅北エリアの誘客と情報発信を！

質問 パトリアリニューアルオープンに合わせ、七尾駅北側の駅北エリア、「駅前銀座」、「新天地」などへの誘客、人のにぎわいを進めていくため、DMOや商店街などの現状と今後の取り組みは。

塗師町の「違い堀」といった宿駅は三街道の中心で、城下町・七尾としてのまちあるき観光のPRや地域住民、次世代への歴史継承を進めるため、地域やDMOなどと一体的に取り組むことも大切ではないか。

答弁 DMOの取り組みとして、七尾駅観光案内所において七尾まちあるき観光パンフレットの配布やまちなか周遊クーポン、能登前寿しクーポンを販売している。インターネットやSNSなどの情報発信を行い、町なかの回遊性を高めている。商店街マップを作成し配布しており、ビジネスマンや観光客が利用する七尾駅周辺ホテルでは、飲食店マップを作成しお客様に御案内している。今後も地域の方々が連携し、町なかのにぎわいを高めていただければと考えており、DMOはどのようなサポートができるか考えていただきたい。「違い堀」は、能登と加賀をつなぐ重要拠点であったが、現在は当時の面影は無くなっていることから、違い堀をはじめ、このような歴史的資源をどのように生かしていくことができるか、今後研究してみたいと考えている。

【その他の質問項目】

■国内最大級の植物工場の整備について
■外国人訪問客への対応について
■児童・生徒の携帯電話・SNS利用について



山崎 智之 議員
(灘会)



里程元標跡